

なくてはならない存在を目指して。

お客さま・地域にとって



C O N T E N T S

ごあいさつ

2 経営理念・基本方針

4 地域貢献・金庫の概要

6 地域密着型金融推進計画

10 地域貢献活動・事業サポート

12 トピックス

14 組織体制

16 組織・役員一覧

19 金庫の考え

20 主要な事業のご案内

24 沿革

25 店舗一覧

「資料編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、資料編を作成しております。「資料編」は当金庫ホームページに掲載しております。



<https://www.shinkinbank.co.jp/about/disclose.html>

神戸信用金庫

本店 〒650-0035 神戸市中央区浪花町61番地
電話 (078) 391-8011

お客さま・地域にとって

なくてはならない存在を目指して。

ごあいさつ

平素は、格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も「2024神戸信用金庫の現況」を作成しましたのでご高覧いただき、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。



昨年は、3年に及ぶコロナ禍が終焉に向かい、街中も賑やかさを増すなど、地域の経済活動もようやくコロナ前の姿に戻ってまいりました。また、金融面では本年3月に日本銀行がマイナス金利政策を解除し17年振りの利上げを行い、経済が新たな段階に入ることを予感させるものとなりました。一方、企業にとっては、原材料価格の上昇や人手不足による賃上げ圧力の高まりなど、経営環境が厳しさを増しております。

この変化する環境の中にあって、当金庫は、お客さまとともに課題解決に取り組むことこそ協同組織である信用金庫の使命であると考え、2年目となる中期経営計画のもと、資金繰り支援をはじめ、販路の開拓・拡大やDX(デジタル・トランスフォーメーション)支援、人手不足への対応といった本業支援により一層力を入れてまいりました。また、昨年は、創立90周年を迎えた記念すべき年であったことから、記念定期預金等のキャンペーン商品の販売や記念行事の開催などを実施いたしました。

こうした中、当金庫は引き続き堅実経営に努め、自己資本の充実、リスク管理の徹底、収益力の強化に取り組んでまいりました。その結果、税引き後の当期純利益は5億76百万円と増益を計上することができ、自己資本比率につきましても、13.34%となり、国内で営業を行う金融機関に義務付けられています4%を大きく上回っています。

2024年度につきましては、中期経営計画の最終年度であり、この3年間の仕上げの年となります。当金庫を取り巻く経営環境は引き続き不透明であり、「金利のある世界」に入った今、これからも予測困難な状況が続きます。しかし、こうした時こそ、私たちは信用金庫の原点に戻り、お客さまや地域にとってなくてはならない存在となるため、自らを変革し挑戦し続け、「お客さま第一主義」を深化させてまいりたいと考えています。

今後ともお取引先の皆さまの一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。

2024年7月

神戸信用金庫
理事長 西多 弘行